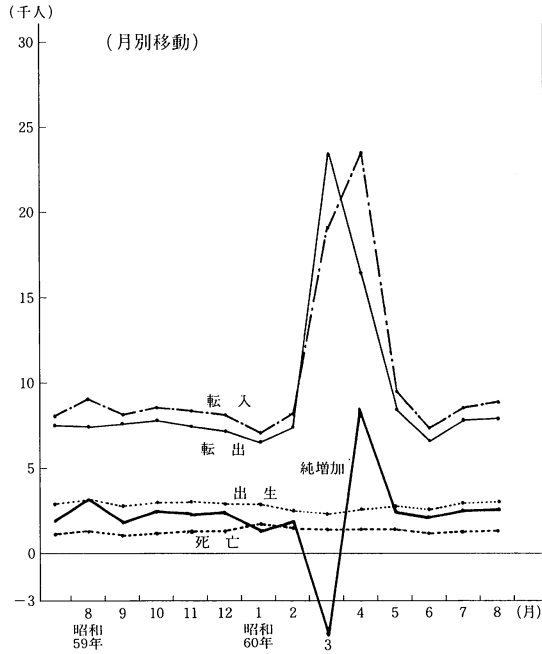


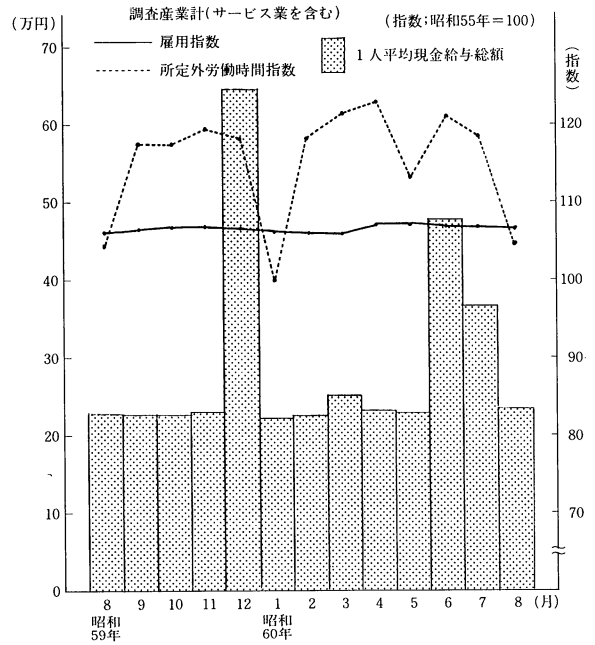
●今月の主な動き

今月の主な動き

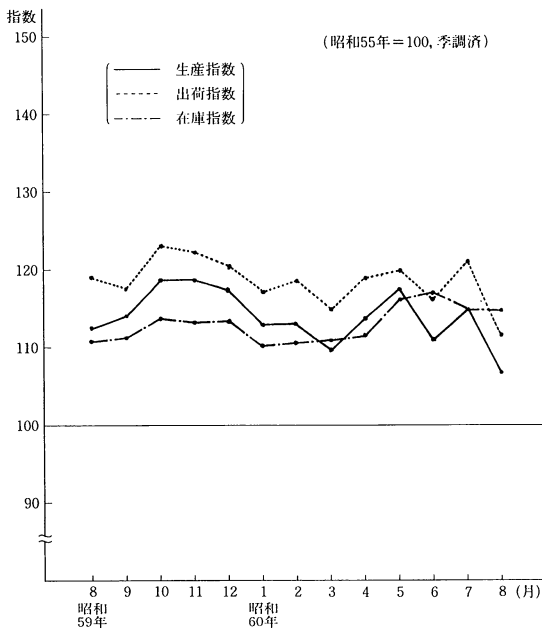
人 口



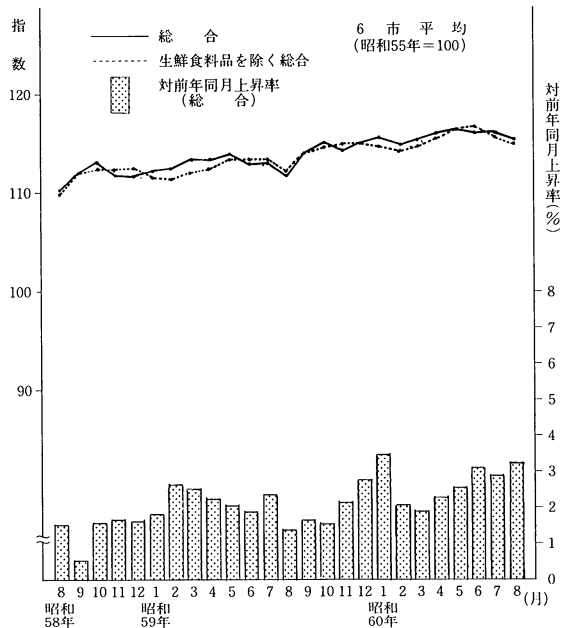
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(9月1日)

本県の人口は、8月中に2,626人増加し、9月1日現在で2,714,931人となった。昨年9月1日と比較すると、26,221人(0.98%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,664人(出生2,979人、死亡1,315人)、社会動態で962人(転入8,805人、転出7,843人)、それ

ぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市57町村、減少が4市14町村、増減なしが3村である。

世帯数についても、760世帯増加して、761,477世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(8月)

1. 平均賃金の推移

8月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は235,305円で前月に比べ35.4%減(前年同月比4.0%増)であった。

このうちきまって支給する給与は224,959円で前月に比べ2.5%減(前年同月比3.2%増)であり、特別に支払われた給与は10,346円で前年同月に比べ3,310円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は164.2時間で、前月に比べ11.9%減(前年同月比1.8%減)であった。

このうち所定内労働時間数は147.7時間で、前月に比べ11.8%減(前年同月比1.9%減)であり、所定外労働時間数は16.5時間で、前月に比べ11.8%減(前年同月比0.1%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.6で、前月に比べ0.3ポイント減、前年同月に比べ0.4ポイント増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(8月)

本県における昭和60年8月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が106.8、出荷が111.4、在庫が114.4で、前月比は、生産が6.8%の低下、出荷が7.7%の低下、在庫が0.1%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.8%の低下、出荷が6.2%の低下、在庫が3.5%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、鉱業、輸送機械、鉄鋼等が上昇し、一般機械、電気機械等が低下した。出荷では、金

属製品、輸送機械、食料品・たばこ等が上昇し、一般機械、電気機械等が低下した。在庫では、鉱業、石油・石炭製品、精密機械等が上昇し、電気機械、輸送機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、建設財、非耐久消費財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、その他用生産財、建設財が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、資本財等が低下した。

■消費者物価指数(8月)

昭和60年8月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で115.5(昭和55年=100)となり、前月比0.8%の下落、対前年同月比3.2%の上昇となった。

今月上がった主な項目……魚介類6.3%、果物5.5%、他の教養娯楽1.5%、身の回り用品1.0%

今月下がった主な項目……衣料△16.9%、シャツ・下着△12.3%、野菜・海草△6.3%、生地・他の被服類△1.8%、油脂・調味料△1.0%

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	115.5	△0.8	3.2	保健医療	116.9	0.1	7.5
食 料	116.8	0.2	3.1	交通通信	112.0	0.4	3.3
住 居	118.0	0.3	4.0	教 育	140.2	0.0	4.4
光熱・水道	108.3	0.0	△0.6	教養娯楽	118.5	1.3	3.3
家具・家事用品	110.5	0.1	4.0	諸 雑 費	114.5	0.2	1.8
被服及び履物	104.8	△11.3	4.5	生鮮食品総称	115.2	△0.9	2.7